

自然環境整備計画(国定公園等整備事業)
【令和2年度～令和6年度】

かながわけん
神奈川県

令和元年12月

変更 令和2年12月

変更 令和3年12月

変更 令和4年12月

自然環境整備計画(国定公園等整備事業)の目標、計画期間及び整備方針

都道府県名	神奈川県	個別地域	丹沢大山国定公園、東海自然歩道(小仏峠～伏馬田、青根／モロホ沢／頭～高指山／浅瀬～高指山)、首都圏自然歩道(松輪～蓑毛、日向～三沢峠)
計画期間	令和 2 年度 ～ 令和 6 年度		

目標

【丹沢大山国定公園】

丹沢大山国定公園の豊かな自然環境の保全・再生及び快適な利用の増進

- ・オーバーユース(過剰利用)が生じている公園歩道を中心に、洗掘を防止する土壌流出の軽減対策等を講じ、自然環境の保全・再生を図る。
- ・危険箇所を解消し、利用者の安全確保を図る。
- ・利用者が多い公園歩道を中心に、歩行を補助する施設整備等を講じ、利便性や快適性の向上を図る。
- ・ルール・マナーの普及啓発のため案内看板等の整備を進める。

【東海自然歩道(小仏峠～高指山)】

東海自然歩道の安全かつ快適な利用の増進

- ・歩行を補助する施設整備等を講じ、利用者の安全を確保するとともに、利便性や快適性の向上を図る。
- ・更新が必要な指導標識においては、多言語対応とし、外国人観光客を含めた利用者の利便性の向上を図る。

【首都圏自然歩道(松輪～梅の木平)】

首都圏自然歩道の安全かつ快適な利用の増進

- ・歩行を補助する施設整備等を講じ、利用者の安全を確保するとともに、利便性や快適性の向上を図る。
- ・更新が必要な指導標識においては、多言語対応とし、外国人観光客を含めた利用者の利便性の向上を図る。

目標設定の根拠

個別地域の現状

【丹沢大山国定公園】

- ・丹沢大山国定公園は、県北西部の丹沢山地のうち27,572haを指定している。首都圏の一角に位置するにもかかわらず、大型動物の生息する自然林など豊かな自然と美しい風景が残され、県の内外に広く親しまれている。自然とのふれあいの場だけではなく、農業や災害防止を通じて地域社会の支えとなり、水源地としても重要な役割を担っている。
- ・近年、丹沢大山では、稜線部でのブナの立ち枯れ、ニホンジカの採食による林床植生の衰退、土壌流出が見られるほか、登山者の集中により登山道周辺の植生が踏み荒らされるなど、自然環境の劣化が進んでいる。このような状況を打開するために、平成19年度から丹沢大山自然再生計画(第1期 H19～H23、第2期 H24～H28、第3期 H29～R3)に基づき、自然環境の保全・再生事業を実施している。
- ・大山が、平成27年にミシュランガイドで紹介され、平成28年度には日本遺産に認定されるなど、利用ニーズが増加していることに加えて、令和2年に開催されるオリンピック・パラリンピック東京大会を契機とした訪日外国人の利用増加が見込まれている。更に新東名高速道路が今後供用されることにより、丹沢大山国定公園へのアクセスが大きく向上するため、適正な利用増進や安全対策を目的とした登山道整備や、利用者の利便性や快適性の向上を目的とした公衆便所等の整備が急務となっている。

【東海自然歩道(小仏峠～高指山)】

- ・神奈川県内の東海自然歩道は、そのほとんどが県立陣馬相模湖自然公園、丹沢大山国定公園、県立丹沢大山自然公園内を歩くルートで、東京都境の小仏峠から丹沢山地を通り、山梨県境の高指山、切通峠までを含め、全長125.8kmを整備している。姫次など標高1,400mを越える山岳地帯を歩くため、全コースを通じて、「最も険しいコース」と言われている。
- ・東京からの交通の便もよく多くの利用者が訪れているが、今後、オリンピック・パラリンピック東京大会を契機に外国人観光客を含めた利用者の更なる増加が見込まれる。

【首都圏自然歩道(松輪～梅の木平)】

- ・神奈川県内の首都圏自然歩道は、総延長153.9km(連絡区間を除く)であり、三浦半島の松輪からスタートし、湘南海岸の大磯までの海岸沿いコース、田園地帯を通るコースを経て、丹沢大山、陣馬相模湖に続く本格的な登山道と、変化に富んだ、全17コースで構成されている。
- ・いずれのコースも、東京からの交通の便もよく多くの利用者が訪れているが、今後、オリンピック・パラリンピック東京大会を契機に外国人観光客を含めた利用者の更なる増加が見込まれる。

課題

【丹沢大山国定公園】

- ・丹沢大山国定公園においては、ブナ等の衰退、ニホンジカによる林床植生の採食等による生態系への影響、生物多様性の保全や希少種の保全及び渓流環境の保全などが課題となっている。
- ・首都圏の一角に位置することから多数の登山者が利用する上に、利用者の多くが特定の登山道や箇所集中しており、周辺の植生が踏み荒らされるなどのオーバーユース(過剰利用)が生じている。
- ・近年、「山ガール」ブームや「山の日」制定等を契機として登山者の裾野が広がっていることを受けて、利用者の年齢層や目的の多様化に対応するために、より安全な施設整備が求められている。
- ・指導標識が老朽化し、かつ多言語対応していないため、外国人観光客を含めた利用者の利便性に影響が生じている。

【東海自然歩道(小仏峠～伏馬田、青根／モロホ沢／頭～高指山／浅瀬～高指山)】

- ・令和元年10月の台風19号による崩壊等により、登山道が損傷している。
- ・施設の老朽化が進み、利用者の安全性や快適性に影響が生じている。
- ・指導標識が老朽化し、かつ多言語対応していないため、外国人観光客を含めた利用者の利便性に影響が生じている。

【首都圏自然歩道(松輪～蓑毛、日向～三沢峠)】

- ・施設の老朽化が進み、利用者の安全性や快適性に影響が生じている。
- ・指導標識が老朽化し、かつ多言語対応していないため、外国人観光客を含めた利用者の利便性に影響が生じている。

個別地域の整備方針	方針に沿った主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> オーバーユース(過剰利用)が生じている特定路線については、踏圧や洗掘による歩道の荒廃が進んでいるため、構造階段工等、自然環境の保全・再生を目的とした施設整備を重点的に実施する。 	表尾根線歩道整備事業 東海自然歩道整備事業 首都圏自然歩道整備事業
<ul style="list-style-type: none"> 利用者が多い主要路線や園地について、階段やはしご、歩行の補助となるくさり場の設置や、老朽化した避難小屋や公衆便所の浄化設備の更新等、利便性や快適性の向上を目的とした施設整備を実施する。 	塔ノ岳園地整備事業 塔ノ岳公衆便所整備事業 丹沢主脈線歩道整備事業 丹沢山公衆便所整備事業 丹沢主稜線歩道整備事業 つつじ新道歩道整備事業 不動ノ峰休憩所整備事業 神ノ川園地整備事業 西丹沢自然教室整備事業 菜の花台公衆便所整備事業 ヤビツ峠公衆便所整備事業
<ul style="list-style-type: none"> 令和元年10月の台風19号の豪雨により被災した登山道の復旧工事を実施する。 	平戸焼山線歩道整備事業 東海自然歩道整備事業 ほか
<ul style="list-style-type: none"> 利用ニーズが増加している特定路線について、落石防止網設置工等、利用者の安全確保を目的とした施設整備を実施する。 	下社大山線整備事業 首都圏自然歩道整備事業 ほか
<ul style="list-style-type: none"> 指導標識を見やすい表示や位置に順次更新する。 外国人登山者の多い地域ではに指導標識、案内看板等を多言語対応のものに更新する。 	菩提峠ヤビツ峠線歩道整備事業 東海自然歩道整備事業 首都圏自然歩道整備事業
<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した既存施設(棧道、丸太土留柵等)を再整備する。 近年の大雨により被災した木橋等の復旧工事を実施する。 	寄ユーション線歩道整備事業 不動尻大山線歩道整備事業

目標を定量化する指標									
指標	単位	定義	調査等の方法	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値		
						基準年度			目標年度
国定公園利用者数	人	丹沢大山国定公園の利用者数	自然公園等利用者数調	丹沢大山国定公園の利用者数を指標とし、現行の5%程度の利用者数の増加を目指す。	2,850,000	平成30年度	2,992,000		令和6年度
東海自然歩道利用者数	人	東海自然歩道の利用者数	自然公園等利用者数調	東海自然歩道の利用者数を指標とし、現行の2%程度の利用者数の増加を目指す。	376,000	平成30年度	383,000		令和6年度
首都圏自然歩道利用者数	人	首都圏自然歩道の利用者数	自然公園等利用者数調	首都圏自然歩道の利用者数を指標とし、現行の5%程度の利用者数の増加を目指す。	935,000	平成30年度	981,000		令和6年度

その他必要な事項

(国定公園等整備事業)交付対象事業等一覧表(1) (金額の単位は千円)

交付対象事業費	663,485	交付限度額	298,568
---------	---------	-------	---------

1 国定公園に係る事業(生態系維持回復事業を含む)

番号	公園名	事業名	事業箇所	事業主体	(参考)全体事業費	(参考)全体事業期間		交付対象事業費	(参考)うち都道府県費	(参考)うち市町村費	(参考)交付対象事業費の年次配分				
						開始年度	終了年度				1年目(2年度)	2年目(3年度)	3年目(4年度)	4年目(5年度)	5年目(6年度)
1-1	丹沢大山国定公園	塔ノ岳園地整備事業	秦野市、山北町、清川村	神奈川県	31,000	5	6	31,000	17,050	0				1,000	30,000
1-2	丹沢大山国定公園	塔ノ岳公衆便所整備事業	秦野市、山北町、清川村	神奈川県	54,611	2	2	54,611	30,036	0	54,611				
1-3	丹沢大山国定公園	丹沢主脈線歩道整備事業	清川村、相模原市、山北町	神奈川県	69,420	2	5	69,420	38,181	0	36,378		1,042	32,000	
1-4	丹沢大山国定公園	丹沢山公衆便所整備事業	清川村	神奈川県	24,348	3	5	24,348	13,391	0		1,044	2,604	20,700	
1-5	丹沢大山国定公園	丹沢主脈線歩道整備事業	相模原市、山北町	神奈川県	40,833	4	6	40,833	22,458	0			20,833	20,000	
1-6	丹沢大山国定公園	つつじ新道歩道整備事業	山北町、相模原市	神奈川県	20,000	6	6	20,000	11,000	0				20,000	
1-7	丹沢大山国定公園	不動ノ峰休憩所整備事業	相模原市、山北町	神奈川県	49,272	3	4	49,272	27,100	0		2,397	46,875		
1-8	丹沢大山国定公園	ケヤキ沢線歩道整備事業	清川村	神奈川県	11,362	3	3	11,362	6,249	0		11,362			
1-9	丹沢大山国定公園	下社大山線歩道整備事業	伊勢原市、清川村、秦野市、厚木市	神奈川県	46,962	2	5	46,962	25,829	0	35,062			11,900	
1-10	丹沢大山国定公園	平戸焼山線歩道整備事業	相模原市	神奈川県	20,000	6	6	20,000	11,000	0					20,000
1-11	丹沢大山国定公園	神ノ川園地整備事業	相模原市	神奈川県	10,000	6	6	10,000	5,500	0					10,000
1-12	丹沢大山国定公園	表尾根線歩道整備事業	秦野市、清川村	神奈川県	34,298	2	2	34,298	18,864	0	34,298				
1-13	丹沢大山国定公園	長尾尾根線歩道整備事業	清川村	神奈川県	8,567	3	3	8,567	4,712	0		8,567			
1-15	丹沢大山国定公園	丹沢湖権現山線歩道整備事業	山北町	神奈川県	10,000	6	6	10,000	5,500	0					10,000
1-16	丹沢大山国定公園	菩提峠ヤビツ峠線歩道整備事業	秦野市	神奈川県	15,500	5	5	15,500	8,525	0				15,500	
1-17	丹沢大山国定公園	西丹沢自然教室整備事業	山北町	神奈川県	702	2	2	702	386	0	702				
1-18	丹沢大山国定公園	首都圏自然歩道整備事業	厚木市、秦野市、伊勢原市、	神奈川県	32,695	3	6	32,695	17,982	0		10,991	2,604	3,100	16,000
1-19	丹沢大山国定公園	東海自然歩道整備事業	相模原市、山北町	神奈川県	124,424	2	6	124,424	68,433	0	20,525	24,972	16,927	46,000	16,000
1-20	丹沢大山国定公園	葉の花台公衆便所整備事業	秦野市	神奈川県	2,604	4	4	2,604	1,432	0			2,604		
1-21	丹沢大山国定公園	ヤビツ峠公衆便所整備事業	秦野市	神奈川県	4,620	3	5	4,620	2,541	0		2,020	2,600		
1-22	丹沢大山国定公園	寄ユーライン線歩道整備事業	山北町、松田町	神奈川県	2,604	4	4	2,604	1,432	0			2,604		
1-23	丹沢大山国定公園	不動尻大山線歩道整備事業	厚木市、伊勢原市	神奈川県	10,300	5	5	10,300	5,665	0				10,300	
					624,122			624,122	343,267	0	181,576	61,353	96,093	143,100	142,000

2 国指定鳥獣保護区に係る事業(国定公園外において行われる自然再生施設の整備事業であって、平成18年度以前からの継続事業であるもの)

番号	国指定鳥獣保護区名	事業名	事業箇所	事業主体	(参考)全体事業費	(参考)全体事業期間		交付対象事業費	(参考)うち都道府県費	(参考)うち市町村費	(参考)交付対象事業費の年次配分				
						開始年度	終了年度				1年目(年度)	2年目(年度)	3年目(年度)	4年目(年度)	5年目(年度)
					0			0	0	0	0	0	0	0	0

3 長距離自然歩道に係る事業(国立公園及び国定公園内の事業は除く)

番号	長距離自然歩道名	事業名	事業箇所	事業主体	(参考)全体事業費	(参考)全体事業期間		交付対象事業費	(参考)うち都道府県費	(参考)うち市町村費	(参考)交付対象事業費の年次配分				
						開始年度	終了年度				1年目(2年度)	2年目(3年度)	3年目(4年度)	4年目(5年度)	5年目(6年度)
3-1	首都圏自然歩道	首都圏自然歩道整備事業	三浦市、横須賀市、葉山町、鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、平塚市、大磯町、秦野市、伊勢原市、厚木市、清川村、愛川町、相模原市	神奈川県	18,389	3	6	18,389	10,114	0		9,685	2,604	2,100	4,000
3-2	東海自然歩道	東海自然歩道整備事業	相模原市、山北町	神奈川県	20,974	2	6	20,974	11,536	0	2,466	4,708	9,800	4,000	
					39,363			39,363	21,650	0	2,466	9,685	7,312	11,900	8,000

4 合計

番号	事業名	事業箇所	事業主体	(参考)全体事業費	(参考)全体事業期間		交付対象事業費	(参考)うち都道府県費	(参考)うち市町村費	(参考)交付対象事業費の年次配分					
					開始年度	終了年度				1年目(2年度)	2年目(3年度)	3年目(4年度)	4年目(5年度)	5年目(6年度)	
					663,485			663,485	364,917	0	184,042	71,038	103,405	155,000	150,000

(参考)自然環境整備計画(国定公園等整備事業)(神奈川県)の概要図

個別地域	丹沢大山国定公園、東海自然歩道(小仏峠～伏馬田、青根／モロ木沢ノ頭～高指山／浅瀬～高指山)、首都圏自然歩道(松輪～蓑毛、日向～三沢峠)	所在地	
------	---	-----	--

※ 個別地域の図面を添付すること。

別紙による